

今日のトピック 積極的な金融緩和策に加え、フォワード・ガイダンスを導入 足元景気回復に自信も、23年末までゼロ金利政策を維持

ポイント1 フォワード・ガイダンスを導入

- 米連邦準備制度理事会（FRB）は9月15日、16日に米連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利であるフェデラルファンド（FF）レートの誘導目標レンジを0.0～0.25%に据え置き、国債買い入れなどの量的緩和政策についても、今後、少なくとも現状のペースを維持することを決めました。
- また、FRBは今回の局面で初めてフォワード・ガイダンスを導入し、「労働市場の情勢がFOMCの雇用最大化の判断と一致する水準に達し、物価上昇率が2%に上昇して当面は2%をやや上回るところで軌道にのるまで」、ゼロ金利政策を維持するとしました。

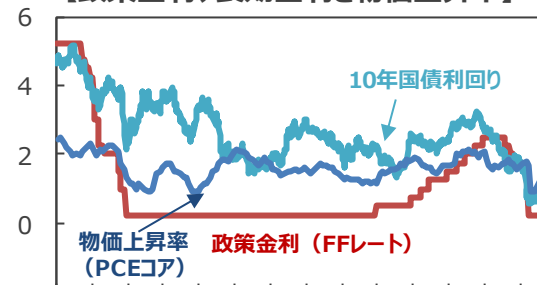
ポイント2 足元経済見通しは上方修正

- FOMC参加者の経済・金利見通しでは、GDP、雇用、物価上昇率ともに前回（6月）見通しから上方修正され、想定よりも早く回復軌道に戻っていることが示されました。一方、FOMC参加者による政策金利見通し（ドットチャート）では、23年末までほとんどの参加者がゼロ金利維持としました。
- 記者会見でパウエル議長は、「経済活動は4-6月期の落ち込んだ状態から持ち直してきたものの、全体の経済活動はパンデミック前の水準を大きく下回っており、先行きも極めて不確実性が高い」と、慎重な姿勢を示しました。

今後の展開 ゼロ金利政策は相場の下支えに

- 16日の米国株式市場はまちまちの動きとなりました。ダウ工業株30種平均はFOMCを受け一時上昇しましたが、その後は利益確定売りに押され、前日比37ドル高の28,032ドルで終わりました。S&P500種株価指数とナスダック総合指数は下落しました。今回のFOMCの内容はある程度織り込まれたものでしたが、FRBが長期にわたりゼロ金利政策を維持する姿勢を示したことは、今後の相場の下支え材料になると考えます。

(%) 【政策金利、長期金利と物価上昇率】



07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 (年)

(注1) FFRレート、10年国債利回りは2007年1月5日～2020年9月15日。2008年12月以降のFFレートは誘導レンジの上限を表示。

(注2) 物価上昇率は個人消費支出（PCE）コア物価指数の前年同月比で、2007年1月～2020年7月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【FOMC参加者の経済見通し】

項目	開催月	2020年	2021年	2022年	2023年	長期
実質GDP成長率	9月	▲ 3.7	4.0	3.0	2.5	1.9
	(%)	6月	▲ 6.5	5.0	3.5	
失業率	9月	7.6	5.5	4.6	4.0	4.1
	(%)	6月	9.3	6.5	5.5	
コア物価上昇率	9月	1.5	1.7	1.8	2.0	-
	(%)	6月	1.0	1.5	1.7	
FFレート	9月	0.1	0.1	0.1	0.1	2.5
	(%)	6月	0.1	0.1	0.1	

(注1) 開催月は、FOMCで経済見通しを公表した月。

(注2) FOMC参加者による予測の中央値。実質GDP成長率とコア物価上昇率は10-12月期の前年同期比。コア物価上昇率は個人消費支出（PCE）コア物価指数。失業率は各年10-12月期の平均値。FFレートは各年末時点における誘導レンジの中央値。

(出所) FRBの資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2020年9月9日 急落した米国株式市場

2020年9月7日 米雇用統計は失業率が大幅改善、雇用者数も4カ月連続改善

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。